レーザ加工学会論文集執筆要領

Instructions foe the Preparation of Camera-Ready Manuscripts for Proceedings of the JLPS National Conference

阪大太郎，産総次郎\*（阪大院工，\*産総研単一分子ラボ）

Taro HANDAI, Jiro SANSO\*

(Graduate School of Engineering, Osaka Univ., \*National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

**1.**　緒 言

 論文集の原稿作成にあたっては，本執筆要領を熟読の上ご執筆下さい．本執筆要領もここで定める様式に沿って書かれていますので，参考にして下さい．

 本執筆要領はMicrosoft Wordにて作成，仕上げることを前提に作成されています．各見出しや本文などの対応する箇所に上書き，あるいはテキストファイルからコピー＆ペーストすれば，所定の書式に自動的に仕上がります．これ以外のソフトウエアを使用される場合も，本執筆要領に準じて下さい．

原稿は，メールにてJLPS事務宛にご送付ください（jlps@jlps.gr.jp）．お使いのプロバイダ等で送信制限が加えられていない限り，レーザ加工学会側では5Mbyteのメールまで受信できます．ファイルサイズ等の関係でメールでの送信が困難な場合は，CD-R等の記録メディアでも結構です．

**2.**　原稿の書き方

　**2.1**　原稿全般

 用紙はA4(白地)縦向きとし，余白を上下22 mm，左右19 mmずつとって，その中に原稿を納める(版面172 mm×253 mm)．

 フォントサイズは10ポイント，行間最小13.6ポイント，文字送り最小9ポイント．

 大見出しは左詰めで，全角スペースの後に書く．中見出し，小見出しは左詰めで，全角スペースの後に書く．

行頭・行末禁則文字を設定する．上下付き文字は行頭禁則とする．

欧字，数字は半角文字を使用する．欧字，数字のフォントは論文全体を通じて統一する．

 量記号はイタリック体(斜体)，単位記号，演算記号はローマン体(立体)とする．

 句読点は，｢．｣｢，｣ではなく，｢．｣｢，｣(ピリオド，コンマ)を用い，全角とする．

**2.2**  記号･単位

　2.3.1　記 号

単位は原則としてSI単位を用いる．記号に続く単位には [ ] をつけ，数値に続く単位には [ ] をつけない．たとえば， [W/m2 K], 17.4 W/m2 K

 **2.3** 数 式

数式は，大文字，小文字，上ツキ，下ツキなどがはっきりわかるようにする．

式中での括弧の順序は原則として [ { ( ) } ] とする．式が途中で切れるときは，次行のはじめに×,＋,－をつける．

式番号は各式の右端に通し番号をつける．本文中では**式(1)**（太字）のように書く．

下余白22 mm

 **2.4** 図表および写真

 図表の表題，説明文などは日本語でもよいが，英文併記が望ましい．番号は表1(Pゴシック体)，表１（Pゴシック体)のように表す．

下余白22 mm

写真は図として取り扱う．したがって番号も図と同じ通し番号を使用する．

 写真は鮮明なものを使用する．

図表(含写真)は，原則として著者のオリジナルを使用する．やむを得ず他の文献等から転載する場合は，著者自ら原著者に許可をとり，出典を明らかにした上で掲載する．

**3.**参考文献

 参考文献は本文中のその項目に(1)のように上付き通し番号をつけ，最後にまとめて書く．

 参考文献の略し方は原則として科学技術文献速報に従う．文献番号を縦にそろえ，文献自体も行頭をそろえる．

 フォントサイズは10pt，行間最小13.6ptとする．

 参考文献が英文の場合，著者名は姓，名(頭文字)を記載する．

 文献の引用は，雑誌は，著者名: 論文の表題，雑誌名，巻数(ボールド体)-号数，(発行年・西暦)，通巻ページ．の順に書く．単行本は，著[編]者名: 書名，出版社，発行地(欧文のみ)，(発行年・西暦)，引用ページ．の順に示す．

 参考文献は入手可能なものに限り，投稿中の論文は引用しない．

参 考 文 献

(1) Gutierrez, G. and Jen, T.-C.: Numerical Simulation of Non-Linear Heat Conduction Subjected to a Laser Source, Int. J. Heat Mass Transfer, **43**-12, (2000), 2177.

(2) Filgas, D.: Advances in High-Power CW YAG Lasers and Fiber Optics Beam Delivery, Proc. of ICALEO’92, (1992), 63.

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（2014年10月，改訂）